

平成25年度女性まちづくり講座 まち・きらきらセミナー 第1回概要

日 時：平成25年7月12日（金）18：00～20：00

場 所：市民活動ネットワークセンターみさわ 第1、2会議室

1. 講師	NPO法人 あおもりNPOサポートセンター 理事長 田中 弘子 氏
2. テーマ	まち・きらきらセミナー ～出会う つながる 動き出す～
3. 内容	<p>○まち・きらきらセミナーについて</p> <p>平成21年度から開催しており、今年で5回目。1年目、2年目は参加者が三沢の魅力を話し合い、冊子を作成（平成21年に作ったものなので中の内容が変わっている）。3年目は三沢の特産品を使ったレシピを作成。広報やHPに掲載。4年目は三沢の魅力を再発見ということで、各グループでテーマを決めて発表。今年度はそのテーマに沿い、具体的に情報発信を行う。この活動を通して、みなさんのネットワークを広げていければと考えている。</p> <p>○主催者あいさつ</p> <p>今年度は、昨年仕上げたものをどのように情報発信していくのかを田中先生のご指導を仰ぎながら活動して、輪を広げていただく。去年から引き続き参加されている方、今年度初めて参加されている方がいる。昨年、初めはどうすればよいかわからないという参加者が多かったが、最終的には盛り上がり有意義な活動となった。初めて参加される方は、皆さんと活動していく中で、どのようにすればよいか分かるでしょう。1年間頑張りましょう。</p> <p>○受講生自己紹介</p> <p>○講師紹介</p> <p>弘前市において女性初の行政管理職として、中央公民館長・市民会館館長を務め、在職中より各種ボランティア活動に積極的に取り組み、まちづくりや人づくりのネットワークを推進している。また、きらきらセミナー第1弾の講師であり、今回は女性の視点を生かしたまちづくりなどについてご指導していただく。</p> <p>◆講話◆</p> <p>皆さん、こんばんは。初めての方、1期生からの方、昨年度からの方、様々いますが、私は皆さんとお会いするのが楽しくて、三沢に通ってきます。活動している中で出会いがあり、その出会いがつながり、私自身のネットワークが大きくなることを実感しています。これから5回三沢に来ますのでよろしくお願いします。</p> <p>去年参加されている方は同じ内容になりますが、一緒に聞いていただきたいと思います。昨年から比べて、いろいろと進化して活動の幅が広がっています。これだったら三沢でもできるのではないかと、というものが出来たので紹介したいと思います。今回のセミナーの目標は、昨年度企画したものを、実際に行動に起こすところまでやりたいです。行政の方にコーディネート役を受けていただくことで、様々な情報を提供してもらい、実際に動くところまで持っていければ、三沢にとって女性たちの輝く視点ができるのではないかと思います。</p> <p>～資料の説明～</p> <p>早速ですが、まちきらきらセミナーの講師をやって、宣伝させていただいたのが、お手元のレジュメです。県のHPに掲載されています。女性の活躍を推進している10人のうちの1人</p>



として私が載っています。昨年のもち・きらきらセミナーを女性の活躍するロールモデル事例として取り上げました。私のいつものミッションは、出会った人同士がつながって、できるなら動き出していくということです。そのように心がけていると不思議なくらい動いていきます。

～弘前市の紹介～

弘前は洋と和が取り入れられている建物が多いです。洋館は堀江佐吉によって建てられました。函館の公会堂もそうです。歩いて回れる街、それが弘前です。

～まちを変えるには自らがまちを好きになることが近道～

「まち・きらきらセミナー」のネーミングがすごく良いです。周りの人から、まち・きらきらセミナーのネーミングを褒められます。まちを変えるには、まず自分が自分の街を好きになるということが大事です。さらに問題意識を持つことも大事になります。集まってきた人との関わりを楽しむことも大事です。「関わること」は、自分の人生を楽しくするかしないかを左右します。いろいろな人と接しますが、その人の履歴を探らないこと。みんながいろいろな意見を持っているので、その意見を否定しないこと。それが関わることの第1歩です。関わりを楽しむことが大切です。楽しくないと続きません。何かを実践するとき大事なものは継続する事です。そのためには楽しくなければいけないのです。

ボランティアは無償で、使命感はあるが長くは続きません。NPO活動は自分たちが活動するための資金を作っていないのです。それを認めてくれたNPO活動の法律ができました。有償の活動ができるNPOに興味を持ち、様々なことをやってみたいと思い、NPOサポートセンターに関わってきました。保証された財源はありませんが、自分たちが動かなければいけないという、成熟した市民社会を目標としています。点をどうやって線にするのか。そして、線が出来ると面になります。その点をつなぐ人、つまりコーディネーターやキーマンになる人を育てることで街が変わっていくのです。

～弘前市の事例～

弘前は竹下内閣の1億円を使い、人づくりのためだけに使ってきました。1億円の利息で市民が社会参加できるような種を蒔きました。ひろさき創生塾、男女共同参画きらめき女性塾、青年プロジェクト塾ができました。青年プロジェクト塾の1期生の中から、NPO法人スポネット弘前を設立し、弘前公園のリレーマラソンを企画しました。ひろさき創生塾では、弘前見探図という名前をつけてアップルパイのマップを作成、そしてFMアップルウェーブを開設。NPO法コミュニティネットワークCASTを設立しました。弘前に冬来ると2月14日までエレクトリカルファンタジアというイルミネーションを見ることができます。弘前市役所の職員の1口1,000円の有志でイルミネーションを灯しました。これは台風19号でリングが落ちた年に「気落ちしないように灯りをともしよう」と始まり、今では弘前の企業等も関わり、街全体にイルミネーションが飾られています。

男女共同参画室のきらめき女性塾ではNPO法人男女共同参画研究所を設立、環境ミュージカルをやるリエゾンを発足、市民参画センターに子育てサポートシステムを作りました。どんどん塾生が種をまき、少し花が咲き始めている状況です。

くもカル弘前実行委員会「またたび」は映画好きの卒塾生が街の中（空き店舗）で自分が好きな映画を上映したいと、細々ながら活動しています。

奈良美智展を吉井酒造倉庫で行いました。弘前出身で世界に名を馳せている方です。ファン

など600人のボランティアが集まりました。私自身を含め、卒業生がキーマンとなり、蒔いた種が花として咲いてきています。

～文化芸術活動のキーマンをつなぐ～

○中央公民館「子どもクラブ」に「子ども小鼓クラブ」「子どもミュージカルクラブ」を追加
弘前と仙台にしか小鼓の先生がいません。小鼓の先生がボランティアでいいから教えたいということで、「子どもクラブ」の中に「子ども小鼓クラブ」「子どもミュージカルクラブ」を追加しました。小鼓は珍しく、市民活動をしていく中で大変活躍しています。

○文化会館「ギャラリーネットワークひろさき」設立

弘前は官民のギャラリーがたくさんあります。それらは全て点です。その点をつなげようと、公営、民営の51のギャラリーがネットワークを組んでギャラリーネットワークひろさきを設立しました。

○市民会館・駅前市民ホール

音楽版ギャラリーネットワークを作りたいと思い、音楽ネットワーク弘前を設立。クラシック系26の音楽団体が集まっています。音楽ネットワークのメンバーが弘前市から委託を受けて、小学校中学校への出前講座を受けてやっています。10月の最終の日曜日に行う街角コンサートが定着してきています。

○文化ボランティア導入

文化ボランティアを弘前に導入したいと思い導入しました。一昨年、私が文化ボランティア協会の事務局をやり、文化ボランティア協会を設立しました。

～事例紹介～

これからは活動していく中で、どのようにしてつながりができたのかを様々な事例で紹介します。

弘前の子どもたちに国際交流を味あわせたいと思い、国際子ども文化芸術交流実行委員会を設立しました。2009年に第1回目のコンサート（ジュニアアーティストフェスティバル）を開きました。ここでは、まち・きらきらセミナーの第1期生とのつながりから、三沢少年少女合唱隊の方にきていただきました。

昨年、黒石の呉服店にバリ島からお嬢にきた方とのつながりで、バリ島から子どもたちに来てもらいました。バリ島の楽器は飛行機で運ぶと高いが、音楽隊の方とのつながりで、東京の楽器を持っている知り合いが無料で運んでくれました。これもつながりです。ウロツテノヤ子（こやのてつろうさん）という影絵をやっている方がいます。バリ島の影絵のつながりから、9月に保育園や小学校の芸術鑑賞教室で影絵をやってもらいます。音楽ネットワークからバリ島つながりで様々広がっています。

次は韓国の事例です。韓国の文化団体連合会の方々が、踊りや歌を小学校の子どもに教えてくれてフェスティバルで紹介できるようになりました。

「地域づくり」という本があります。日本宝くじ協会の助成金をもらって、一般社団法人の地域活性化センターがおおもとになって作成しています。青森県地域づくりネットワーク推進協議会に登録すると、1年に何回かこの本が送られてきます。全国で様々なことをやっている団体の紹介が載っています。もちろん自分たちで応募しても良いです。三沢のきらきらセミナーも載せられます。このような情報を知ることが大事です。ここに登録することで、無料で自分たちの活動を宣伝できます。情報は常に得ることです。

～セミナー・ハンサムウーマン発足～

昨年、このセミナーに来て、三沢にネットワークができれば良いと思いました。私の先輩から情報交換をする場を作りたいと言われ、セミナーハンサムウーマンを発足しました。いろいろな人が参加して良いのですが、飲食をしながら、楽しい会にしています。いろいろな方が講師で来ています。20代～70代まで幅広く、今は3分の1が男性です。ここ最近は後継者作りが課題です。あえて若い年で頑張っている人をゲストにお願いしました。

青森のAファクトリーでベジマツリをやった方、弘前の土手町を活性化させたいと、地元の野菜、魚を中心に業者と手を組み中央市場にちょっと変わった異空間をつくる取組みをした方につながってもらいました。つながることを意識的に始めることが大切です。

～ハンサムウーマンの活動～

セミナー・ハンサムウーマンが団体として活動したのは、名古屋のNPO法人の方とつながっていた関係からです。北ドイツのエカンフェルデという人口3万人の都市があり、日独の草の根文化交流を行いました。ハンサムウーマンのメンバー会員18名で行ってきました。そこで、津軽の民芸工芸を宣伝してきました。

私が退職した年に、文化庁との関わりから文化ボランティア全国フォーラムを弘前で行いました。なぜ弘前かと言うと、弘前は「ねぶた」というお祭りがあります。これは弘前市から出るお金はわずかで、みなさん各自がお金を集めているのです。「ねぶた」は元祖文化ボランティアなのです。だから、弘前の「ねぶた」の時期にあえてやることにしました。本当は1ヶ所に集めてフォーラムを開催すると主催者は楽です。しかし、弘前は歩いて面白い街なので、1か所に集めるのではなく、弘前の街にある様々な官民の場所を使って分科会をやりました。

文化ボランティア全国フォーラムは、1、2回目は東京、3回目は弘前、4回目は東京の様々な区をつなげてやりました。しばらく休息していたが、今年の8月に第5回目が再開。2010年には文化ボランティア全国フォーラム実行委員会の中で、六本木ホテルアイビスの中にある、六本木探検隊をやっている方と代表取締役の方がつながって、東京タワーとつなげてくださり、東京タワーで弘前のリンゴ祭りを開催することができました。それから、いろいろなつながりから、岩手県の遠野まごころネットへヒバの枕を届けました。そして、お手元にあるつながれっとサロンを開催。今年は8月から3月まで開催します。

～文化ボランティアとは～

文化ボランティアは1. 文化をさかんにする活動、2. ところを豊かにする活動、3. 好きなことでもっと人生を楽しくする活動、4. 文化芸術に自ら親しむとともに、他の人が親しむのに役立ったり、お手伝いをするボランティア活動、5. 個の確立と新しい公の創出、6. ゆるやかな組織、ネットワーク型、7. 大学生や若い人を引き込む世代間の交流です。

～子ども☆ひかりプロジェクトについて～

次に紹介するのが、子ども☆ひかりプロジェクトです。北海道から九州の国立、県立、市立の博物館や科学館が参加して、復興支援のために、自分たちが何かできないかということで立ち上がりました。10年続けます。私は助成金を得るためのアドバイザーとして関わっています。子どもたちの目の輝きが素晴らしいです。この子ども☆ひかりプロジェクトは三沢が手を挙げれば実現できます。会場費と当日の受付等のボランティアがいれば、プロジェクトの方たちは全部自前（助成金）でやって来ます。子どもの笑顔が素敵なのです。子ども☆ひかりプロジ

ェクトで検索すると子どもたちの明るい顔が癒してくれるのでぜひ検索してみてください。

～写真の紹介～

○りんごまつり

りんごまつりを東京でやった時、一番人気だったのはリンゴの皮むきでした。タカマル君がきて、東京タワーののっぼんと一緒に撮った写真です。

○遠野まごころネット

弘前実業高校の家庭科クラブの生徒が青森ヒバの枕を作って、遠野まごころネットへ届けました。

○絵本プロジェクトいわて

ネットワークで八戸市のはますか保育園（津波被害）に盛岡市の中央公民館が主体的に動いて絵本を届けてくれました。絵本が心を癒すのです。全国に呼び掛けて絵本を集めました。最終的に20万冊くらい届いたのですよ。資料館が移転で空いていたので、絵本を全部持ってきて、ボランティアの方が整理しました。絵本プロジェクトいわてで、八戸市に届けてくれました。

○つながれっとサロン

市役所の女性職員の自主グループ「うきうきクラブ」を作り、昼休みにお弁当を食べ、しゃべりあいながら、こんな市役所がいい、こんな施設が欲しいと話し合いました。実際に施設をまわって検証して、その結果等をうきうきクラブかわら版として出しました。2005年にはつながれっとサロンという名前に変えて、行政と民と一緒に活動するグループとして、2007年1月、男女共同参画ネットワークの津軽広域8市町村をたちあげました。しかし、市町村の担当者が常に変わるので、いつもスタートに戻ってしまいます。民で活動しているグループはステップアップし、そこに差がでてしまうのです。市町村の職員のネットワークの合同会議と民のそれぞれが活動している団体と2つの両輪。その活動に青森県の男女共同参画が注目して、2011年から上十三を中心としたもの、下北、西北ができ、講師として行かせてもらいました。今、青森県には何か所かあります。今年も青森県の予算で上十三、津軽広域が地域防災について事業を行います。

○男女共同参画ネットワーク

これは十和田でやった男女共同参画のお祭りの写真です。アピオでいつもやるのですが、広域が出来たことによって、広域にふっています。こういうネットワークは力になっていきます。1団体ではなかなかできませんが、つながることで出来るものがあるのです。

○まなびいの不思議な壺

これはまなびいの不思議な壺です。生涯学習のマスコットですが、最近生涯学習で広めていないので私が広めたいと思っています。石ノ森章太郎さんが描き、学んだことを壺に入れて、それを夢や希望やアイディア、エネルギーに変える不思議な壺です。これがすごく大切です。

～最後に～

最後に、人・物・金がないときはネットワークです。線と線を結ぶことで、いろんな人や場所とつながり、動き出していきます。いろんな人とつながるとやる気や継続する気持ちを高めてくれます。そしてコミュニケーション力が培われるのです。つながることを楽しんでください。できることを大切にしましょう。街への情熱を持ち続けましょう。仲間と対等、平等な関係を持ちましょう。頭を柔らかくして、工夫を学びましょう。出会って、つながって動き出すことを楽しく続けましょう。

◆前回参加者によるグループの発表◆

～ミラクルテレビ「グループミラクル」の発表～

発表者A：私たちの班は普段マックテレビを見ていて、料理番組がないことに気づきました。簡単な英語を使って5分くらいの料理番組を作ろうという企画です。

発表者B：三沢市は基地があり、英語に簡単に触れあえるのに活かしていません。特産物を活かした料理番組を英語でやったらいいのではと思い企画しました。

田中先生：三沢にはマックテレビがあります。何分くらいなら取り上げてくれるのか。どことつながればよいか。英語の訳は誰に頼めばよいか。発音は誰に教えてもらえばよいか。いろいろな課題があります。それを1つ1つ解決していくのです。これからその作業をしていきます。大変面白いと思います。三沢は英語が魅力で、簡単に英会話ができます。幼稚園、小学校から英語が導入されている現代、三沢の強みをいかしていくことができます。また、食べるというのは楽しいことです。英語でレシピが言えたらおもしろいですね。良い発想です。どのようにして、放送してもらえるところまでたどりつけるのか、これをクリアするためにはネットワーク、コーディネーターが必要なので、市民協働推進係の協力が必要です。



～斗南藩について「グループみさわ里♡メイク」の発表～

発表者C：子どもたちに廣澤安任が何をしたのか教えたいと考えました。劇や紙芝居をして教えます。六十九種草堂という建物があります。どういう草木があるのかをみなさんに知らせたいです。そこの牧草を利用して遊んだり、染色などをしたりして伝えようと考えました。

田中先生：今、八重の桜で注目されているこの機会を逃してはいけません。今まで、全然活用されていないので子どもたちに伝えるのは大事です。私は紙芝居が大変良いと思います。紙芝居はわかりやすくなければいけない。わかりやすく説明するというのは大変難しいが、かみ砕いて伝えることはすごく良い事です。是非紙芝居をやってほしいですね。紙芝居のイラストを描いてくれる人とネットワークを作る必要がありますね。



～温泉について「まちづくりサポーし隊」の説明～

田中先生：三沢に温泉がたくさんあるのを私は知りませんでした。各温泉の方との協議が必要ですが、各温泉の浴衣がもらえたら、もっともっと楽しくなると思います。2週間くらい前にNPOテイクオフミサワが温泉条例フォーラムを行いました。同じテーマなのでそこと繋がって、実際に何か行えるのではないかと考えています。

次回の8月9日はグループで話し合いをしながら、タイムスケジュールをたてましょう。

9月13日は実践をするために、行動を起こします。10月は助成金の説明です。最後の11月はそれぞれのグループごとに発表します。三沢市の提案事業の助成金を説明してもらい、実践できるかもしれません。そこまで発表してもらい、修正して、最後はもう一度発表です。私からは以上です。

◆閉会◆